

弊社東富士センターでの火災・防災訓練について

東富士センターでは火災・防災訓練を毎年6月・12月の2回にわたり実施していますが、今回は6月から少し遅れ7月の梅雨の合間を縫って実施致しました。訓練を実施しているいつも思う事は、火災を発生させるその原因のほとんどが人災とも言える火の不始末であるという事です。弊社の火災・防災訓練においては、火災が発生した場合いかに初期消火の段階で確実な鎮火対応ができるか、消防署に的確な通報連絡ができるか、お客様の避難誘導が迅速で安全な段取りをもって行う事ができるかなどを主な訓練の内容としています。訓練終了後に、対応が不足している点はなかったか、問題点はなかったか等を振り返り、次回訓練に活かすようにしています。これからも、訓練を通じ絶対に起こしてはならない火災に対する防火意識の向上を図る事と、万が一の火災には日頃の訓練の成果を発揮し、確実な消火活動と的確な通報及び避難誘導など職員の誰もが対応できるように、今後も継続して訓練による経験を積重ねたいと思います。



・消防署通報による火災情報連絡



・消火栓の初期操作による非常用消火栓開放



・室内消火栓による放水実施



・全員参加による消火器訓練